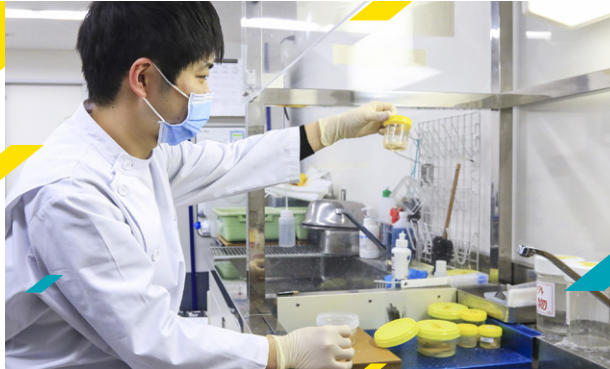


獣 医 師



主に、食肉や食品の安全性を確保するため、食肉衛生検査や食品衛生に関する監視指導業務に携わるほか、動物の飼育や健康管理、環境保全に関する調査・研究などの業務に従事します。公衆衛生分野である食肉衛生検査所、衛生研究所、食品監視センター、各区の衛生課のほか、動物愛護の業務を行う動物管理センターや、動物の診療を行う八木山動物公園など、配属先は多岐にわたります。

私の WORK

獣医師としての専門性を生かし、市民生活に貢献。

▶現在の仕事内容

食肉衛生検査所では、食肉用となる牛や豚の衛生確保を行うため、生体検査、解体検査、精密検査などの、と畜検査業務を行っています。病理班に所属しており、ここでは解体検査ではわからない病片の組織標本を作成し、顕微鏡で観察し、診断します。自分の専門性を生かし、市民の安全・安心な暮らしに貢献できる仕事です。



▶志望動機

小学校から高校まで多くの時間を過ごした仙台市にはさまざまな思い出があるので、獣医師という資格を生かして働くことができる仙台市職員となり、地域の役に立ちたいと考えました。

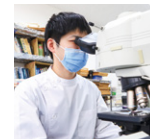
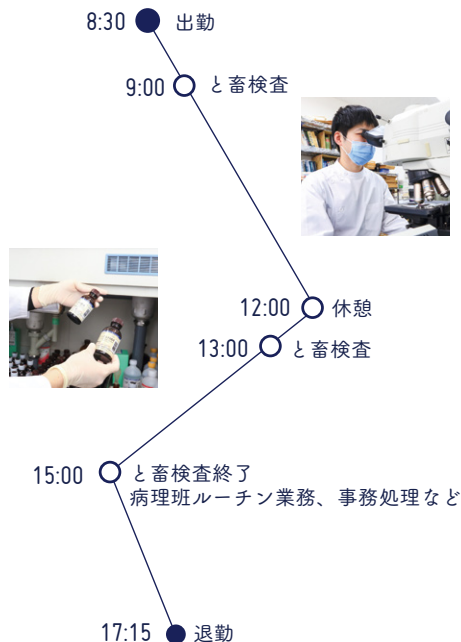
▶仕事の魅力

と畜検査業務は、専門的な知識や技術を要する内容であり、食肉の衛生確保や感染症対策などを通して市民生活に貢献できることにやりがいと誇りを感じています。

▶後輩へのメッセージ

仙台市には食品衛生、公衆衛生、環境保全など、獣医師が幅広く活躍できるフィールドがあります。同僚や上司のサポート体制がしっかりしており、他部署との連携や他職種の方々とのつながりから学ぶことも多く、自分もまちとともに成長できる環境だと思います。

ある1日のスケジュール



Q 職場の雰囲気はどうか？

A 理解ある上司や同僚に恵まれ、仕事だけでなくプライベートなことも相談しやすい、風通しの良い職場だと思います。

Q 入居前に不安だったことは？

A 妻と協力して子育てをしており、仕事と両立できるか不安でしたが、配属先や通勤時間の希望も叶い、保育所へのお迎えもできています。

Q 印象に残っている出来事は？

A 区の衛生課にいた時、住民からの相談について、職員一丸となって粘り強く対応して解決できたことです。市民の方にとでも満足していただけたことが強く印象に残っています。

Q 採用試験の情報収集や勉強方法は？

A 準備期間は1年程度でした。他の自治体に勤務していたので、退勤後の時間や、子育ての合間の「すきま時間」を利用して勉強しました。

Q これからチャレンジしたいことは？

A 検査業務をより短時間に、正確にできるような改善の提案・実施をしてきたいと思っています。プライベートでは、サッカーをまた始めたいです。

▶ワーク・ライフ・バランス

限られた時間ですが、帰宅後に子どもたちと一緒に過ごす時間をつくれるよう、仕事の時間を調整しています。

私の LIFE

まだ子どもが小さいので、家族で近くの公園などに出かけています。最近では子どもたちと一緒にスノードームやキャンドルを作ったり、DIYで子ども用のイスを作ったり、家族と過ごす時間を楽しんでいます。



健康福祉局 保健衛生部
食肉衛生検査所

結城 章太郎

仙台市出身
平成27年度採用

